

## 第五次南風原町総合計画等審議会

### 第3回 審議会 議事要旨

#### 1 開催日時

令和4年8月8日(月) 14:00~16:00

#### 2 開催場所

南風原町役場 3階庁議室

#### 3 出席者

項目	名前	活動、所属等
審議会委員	伊良皆 マサ子	知識経験者
	大城 恵美	知識経験者
	島袋 隆志	知識経験者
	城間 敏夫	知識経験者
	桃原 一彦	知識経験者
	大城 つや子	琉球絃事業協同組合 理事長
	金城 清	町農業委員会 会長
	當眞 めぐみ	町区長会 会長
	前川 義美	町社会福祉協議会 会長
	諸見里 元	町観光協会 会長
	宮平 暢	町職員
欠席者	金城 宏孝	町商工会 会長
	金城 美津子	町女性連合会 会長
	仲本 佳奈恵	南風原小学校 PTA 会長
担当部長	新垣	議会事務局長
	知念	民生部長
	金城	経済建設部長
	與那嶺	教育部長
事務局	玉那覇	企画財政課
	翁長	企画財政課
	仲里	企画財政課
	金城	企画財政課
委託事業者	安達貢	株式会社エコパル舎
	久田要	株式会社エコパル舎

## 4 次第

### 1. 開会

### 2. 議事

第五次南風原町総合計画後期基本計画について

(1) 第2回審議会の議事要旨・意見と対応

(2) まちづくり目標4 工夫と連携で産業が躍動するまち（産業・雇用）

(3) まちづくり目標5 みどりとまちが調和した安全・安心のまち（都市基盤・安全・安心）

(4) 行財政計画（行財政）

(5) まとめ、答申（案）について

### 3. その他

### 4. 閉会

## 5 会議資料

第3回 審議会 次第

資料-12 第2回審議会の議事要旨・意見と対応

資料-13 審議会質疑への対応

資料-14 答申及び意見書（案）

資料-15 計画修正に係るレイアウト等について

## 6 議事内容

### 1. 開会

### 2. 議事

#### (1) 第2回審議会の議事要旨・意見と対応

事務局) 事務局より資料-12、資料-13、資料-15 を使用し説明を行った。

会長) 説明に対して、ご意見等あればお願いしたい。

委員一同) 異議なし。

#### (2) まちづくり目標4 工夫と連携で産業が躍動するまち（産業・雇用）

事務局) 事務局より資料-4、資料-5、資料-6、資料-13 を使用し説明を行った。

会長) まちづくり目標4について、ご意見等あればお願いしたい。

委員) P76「遊休農地又は耕作放棄地の率の状況」の表について。率ではなく面積ではないか。

事務局) 率ではなく面積であるため、修正する。

委員) P78「他産業との連携による6次産業化の推進」の6次産業について。1次産業を行っている方が、2次産業3次産業まで行うものと思う。計画文を見ると、農工商連携のように感じるので6次

産業化とっていいものか。

会長) 6次産業について、農商工連携も6次産業化に含まれると捉えてもいいのではないか。

経済建設部長) 6次産業化の意味は、おっしゃるとおり本来、生産者が自分で製造して製品として販売することである。すべて単独で担うのは難しい面もあるため、生産者と製造業者が連携して一緒に行うことで6次産業化に向けた取り組みを支援する意味合いを含めているためこのように掲載している。

会長) 6次産業について、国等で定義されていると思うため、定義を確認した上で、内容と見出しがあっているかを再検討いただきたい。

委員) P83 重点事業に「中小企業・小規模企業振興推進事業」があるが、どの施策と対応しているか。

会長) P81 に「南風原町中小企業・小規模企業振興基本条例」の記載がある。

事務局) 記載されている重点事業は、個別の施策に対応する事業でなく、各施策に取り組むための事業となっています。

委員) P81 (3) 「企業の相談・支援、雇用促進」について。「求人・求職ともに応募はありますが、マッチングに至っていません。」とあるが、原因はどのようなことが考えられるか。

経済建設部長) 主な要因として年齢が関係している。企業が求めているのは45歳前後であるが、年齢をオーバーしている方が多く、ミスマッチが発生している。

会長) 現在は年齢を特定した募集が出来ないため、結果としてミスマッチが発生している。「マッチングに至っていません。」だけでなくプラスアルファの表現があると尚いい。

事務局) P81 は、現状・課題に関する文章となっており、これを解決するために、P82 (3) 企業の相談・支援、雇用促進の②において、「無料職業紹介所については、町内企業及び町民等への周知を図り、雇用機会の提供及び企業支援」を行うということとしている。

会長) P81 では、「有効なマッチングに至っていません。」等の表記を工夫されたい。

委員) 「マッチングに至っていないケースもあります。」にしてはどうか。

委員) P77 (1) 農業基盤の強化について、耕作放棄地の解消等とあるが、道の無いところもあるがこれも対象となるか。

事務局) 利用集積で対応していく施策となっている。

委員) 所有者が別々であると、耕作を手放さなければならなくなる人も出てくるため、利用集積で言い切ってしまうてよいのか。

委員) 町が間に入るか、所有者同士で交渉するかがある。現状は担い手が足りないので、土地も含めて集積して、担い手を確保する。土地の状況や所有者によって違う。

経済建設部長) 遊休農地等、進入路が無いために耕作放棄地になる場合、町としては集積して整備しようというものである。町の方で耕作放棄地に関する支援制度があるため、それらを活用して行っていく予定である。

委員) 中小事業者について、区画整理によって町外に出て行ってしまった事例がある。

経済建設部長) 区画整理によって町外に出る件について、用途で同じレベルの土地が用意できなかったことが考えられる。P82 (4) 企業進出の環境整備において、産業用地の確保(土地利用の見直し)を考えている。

委員) 立地面積を増やすということではどうか？

経済建設部長) 都市計画マスタープランにおいて具体的に検討を進めていく予定であるが、増やしていきたいと考えている。

委員) 南風原町は商業地域の指定はあるが、製造業の立地は厳しいのではないかと。コロナ禍前に土地探しをしたが、南風原町で製造業を行うのは非常に厳しい状況であった。

会長) 自治体によって出来ること、出来ないことがあるため、土地利用の方向性を示して頂ければと思う。

委員) これからの伝統工芸産業の視点として、陶芸を観光利用として検討できないか。

委員) 滞在型観光を目指すとするが、体験型の観光を目指すことは大事なことはないかと思う。そのためには、町が中心となって観光協会と耕組合と陶芸団体が連携して話し合う場が設けられるとありがたいと思う。

経済建設部長) P86 (3) 既存資源の活用・魅力向上の推進において、「着地型観光プログラムの開発など」とあるように、様々な組み合わせによって観光プログラムを考案して参りたい。

委員) P89 (3) 観光関連産業等との連携による展開の「①琉球絣や南風原花織と他産業との連携による各工芸相互の体験の場などのプログラムづくり」で対応されるという認識でよいか。他産業に含まれると思うが、陶芸をぜひ入れていただくと具体化されてよいのではと思う。

経済建設部長) P90 伝統工芸産業の振興事業において、琉球絣や南風原花織については既に指定済みであるが、陶芸についてはまだ伝統工芸産業に指定されていないため、今後検討して参りたい。

委員) 観光プログラムというのは、どのコースを選ぶか、というものに使われている。プログラム、メニューをつくり、滞在型観光を目指すという認識でよいか。

経済建設部長) プログラムを考える上で、各団体との連携も含めて、検討したい。

事務局) 1つでは観光資源になりえないものも、観光カルテを基に観光資源を組み合わせた着地型観光を開発するなど、具体的には今後の南風原町観光振興計画の中で検討したい。

委員) P90 の5年後(令和8年度)の目標値について、「琉球等従業者数」とあるが、「琉球絣等従業者数」ではないか。

事務局) ご指摘のとおり、修正する。

### (3) まちづくり目標5 みどりとまちが調和した安全・安心のまち(都市基盤・安全・安心)

事務局) 事務局より資料-5、資料-6を使用し説明を行った。

会長) まちづくり目標5について、ご意見等あればお願いしたい。

会長) 確認であるが、「南風原町景観計画」には、既に策定されたものであるか？

事務局) 前期基本計画期間中の平成30年度に策定された。

委員) 高架下を活用したアマチュアのスケボー大会が南風原でも開催されていたと思う。活性化につながり、非常にいいと思っている。

委員) 4歳の孫がウルトラマンが大好きで、南風原高校にあるウルトラマンを見に行ったが、高校の中なので部外者は入れなかった。誰もが行ける南風原の公園にウルトラマンがあってもいいのではないかと。

委員) 観光協会がウルトラマンの模様を絣で織って作ることをチャレンジしているが、権利の関係等でうまく進まないということであった。公園やモニュメントなど出来たらいいが。

委員) 高津嘉山の方に遊歩道を整備して頂いて、公園へ降りる遊歩道を創れば、観光にもなるしウオ

ーキングコースにもなる。夕焼けも見えて景観も素晴らしい。ぜひ高津嘉山の遊歩道計画を進めていただきたい。

会長) ルートの検討はされているか?

経済建設部長) P95「公園・緑地の整備状況」にあるように、整備率や南風原町の1人当たり公園面積は県の値に比べまだ少ない状況。P98 個別計画の「南風原町都市公園整備計画」において今後検討して参りたい。

委員) ぜひ個別計画の中で取り上げていただきたい。

委員) P97「南風原南 IC、南風原北 IC 周辺土地利用推進事業」について。南風原北 IC の高架下の土地が有効利用できたらいいなと思っている。観光客や地域の方が集まれるようなものが出来ないか。

経済建設部長) 「南風原南 IC、南風原北 IC 周辺土地利用推進事業」は既に着手し始めており、具体的な活用方策について、検討している段階である。

委員) 字行政について。自主防災組織はつられているか?

副会長) 宮平区においては自主防災組織がつけられている。宮平川が氾濫するため、川沿いの声掛けをし、今回も被害を免れた。少しずつ活動を進めている。

#### **(4) 行財政計画 (行財政)**

事務局) 事務局より資料-5、資料-6 を使用し説明を行った。

会長) 行財政計画について、ご意見等あればお願いしたい。

委員一同) 異議なし。

#### **(5) まとめ、答申(案) について**

事務局) 事務局より資料-14 を使用し説明を行った。

会長) 答申及び意見書(案) について、ご意見等あればお願いしたい。

委員一同) 異議なし。

### **3. その他**

○答申については、本日の意見等も踏まえ会長・副会長と事務局が代表して取りまとめを行い町長へ答申する。答申内容については後日皆様へ郵送する。

### **4. 閉会**

以上

「第五次南風原町総合計画後期基本計画（案）」意見と対応

No.	ページ	意見	対応
1	P76	「遊休農地又は耕作放棄地の率の状況」の表について。率ではなく面積ではないか。	率ではなく面積であるため、面積に修正する。
2	P78	「他産業との連携による6次産業化の推進」の6次産業について。1次産業を行っている方が、生産者が自分で製造して製品として販売することである。計画文を見ると、農工商連携のように感じるので6次産業化とっていいものか。 6次産業について、国等で定義されていると思うため、定義を確認した上で、内容と見出しがあっているかを再検討いただきたい。	「6次産業化とは、農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業まで含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするものである。」(出典：「文部科学省認定済教科書（高等学校農業科用）農業経営」、実教出版) 農林水産省などに資料によると 「農林漁業者による生産・加工・販売の一体化や、農林水産業と第2次・第3次産業の融合等を通じて、農山漁村に由来する農林水産物、バイオマスや農山漁村の風景、そこに住む人の経験・知恵に至るあらゆる「地域資源」を活用し、新たな地域ビジネスの展開や新たな業態の創出といった新たな取組を通じて、付加価値のより多くの部分を農山漁村地域に帰属させ、地域内に雇用と所得を確保すること」(平成26年) 以上のことから、本町計画で言っている内容は、問題ないといえます。
3	P83	重点事業に「中小企業・小規模企業振興推進事業」があるが、どの施策と対応しているか。	個別の施策に対応するだけでなく、2節賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興の各施策にまたがって対応している。
4	P81	(3)「企業の相談・支援、雇用促進」について。「求人・求職ともに応募はありますが、マッチングに至っていません。」とあるが、原因はどのようなことが考えられるか。 また、「マッチングに至っていません。」の表現について修正されたい。(有効なマッチングに至っていません。マッチングに至っていないケースもあります。等)	年齢が関係している。企業が求めているのは45歳前後であるが、年齢制限をオーバーしている方が多く、ミスマッチが発生している。 「有効なマッチングに至っていないケースもあります。」に修正する。 (参考:他市の事例では、就職者は事務系希望が多いのに対し、求人は技術職が多いといったミスマッチ有。)
5	P77	(1)農業基盤の強化について、耕作放棄地の解消等とあるが、道の無いところもあるがこれも対象となるか。	利用集積で対応していく方針である。 遊休農地等、進入路が無いために耕作放棄地になる場合、町としては集積して整備しようというものである。町の方で耕作放棄地に関する支援制度があるため、それらを活用して行っていく予定である。
6	P84	中小事業者について、区画整理によって町	区画整理によって町外に出る件について、

		外に出て行ってしまった事例がある。 南風原町内での製造業の立地は厳しいのではないか。	用途地域の指定で同じレベルの土地が用意できなかったことが考えられる。 P82（４）企業進出の環境整備において、産業用地の確保（土地利用の見直し）を考えている。都市計画マスタープランにおいて具体的に検討を進めていく予定である。
7	P86 P89～ 90	これからの伝統工芸産業の視点として、陶芸教室や観光利用など、検討していけるのでは無いか。 また、町が中心となって観光協会と耕組合と陶芸団体が連携して話し合う場が設けられるとありがたいと思う。	（３）既存資源の活用・魅力向上の推進において、「着地型観光プログラムの開発など」とあるように、様々な組み合わせによって観光プログラムを考案して参りたい。 伝統工芸産業の振興事業において、琉球絣や南風原花織については既に指定済みであるが、陶芸についてはまだ伝統工芸産業に指定されていないため、今後検討して参りたい。 1つでは観光資源になりえないものも、観光カルテを基に観光資源を組み合わせた着地型観光を開発するなど、具体的には今後の南風原町観光振興計画の中で検討したい。
8	P90	5年後（令和8年度）の目標値について、「琉球等従業者数」とあるが、「琉球絣等従業者数」ではないか。	ご指摘のとおり、「琉球絣等従業者」に修正する。
9		南風原高校にあるウルトラマンを見に行っただが、高校の中なので部外者は入れなかった。誰もが行ける南風原の公園にウルトラマンがあってもいいのではないか。	南風原町ならではの資源を有効に活用できるよう、関係機関と連携を体制を構築するなどして、取組を進めていきたい。
10	P95～ 98	高津嘉山の方に遊歩道を整備して頂いて、公園へ降りる遊歩道を創れば、観光にもなるしウォーキングコースにもなる。夕焼けも見えて景観も素晴らしい。ぜひ高津嘉山の遊歩道計画を進めていただきたい。	P95「公園・緑地の整備状況」にあるように、整備率や南風原町の1人当たり公園面積は県の値に比べまだ少ない状況。 P98 個別計画の「南風原町都市公園整備計画」において検討して参りたい。
11	P97	「南風原南 IC、南風原北 IC 周辺土地利用推進事業」について。南風原北 IC の高架下の土地が有効利用できたらいいなと思っている。観光客や地域の方が集まれるようなものが出来ないか。	「南風原南 IC、南風原北 IC 周辺土地利用推進事業」は既に着手し始めており、具体的な活用方策について、検討している段階である。
12		字行政について、自主防災組織は非常に重要である。	自主防災組織を組織してきており、少しずつ活動を進めている。